

平成30年度

「運営に関する計画・自己評価」（最終評価）



平成31年3月7日（木）

大阪市立塩草立葉小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標「豊かな心をもち、自ら考え、正しく判断できる子どもを育てる」のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。子どもが健やかに成長し、心豊かに生きるため、学力や体力とともに、基本的な生活習慣、自尊感情などをトータルにはぐくむよう、全教育活動を通して取り組んでいる。保護者や児童アンケート等では、教育活動に対して肯定的な回答がほとんどで、取り組みの成果があらわれている。今後も、家庭、地域と連携して安全な社会の実現と学力・体力の向上に努めていく。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**※平成28年度⇒平成29年度⇒平成30年度**

<全国学力・学習状況調査（6年生）より> 4月に実施

○「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合 **※74%⇒67%⇒84%**

<大阪市小学校学力経年調査（3年生以上）より> 12月に実施

○「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合 **※73%⇒76%⇒81%**

※自尊感情をさらに育成する。

○「朝食は毎日食べますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **※22%⇒20%⇒10%**

○「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **※24%⇒22%⇒21%**

○「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **※14%⇒13%⇒14%**

○「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合 **※93%⇒93%⇒93%**

<保護者アンケート（全学年）より> 2月に実施

○「学校は、人権を大切にしている教育に努めている」の項目で、「当てはまる」「やや当てはまる」と答える保護者の割合 **※85%⇒89%⇒88%**

※人権教育の取り組みをさらに充実させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上】

<全国学力・学習状況調査（6年生）より>

○正答率が大阪市平均、全国平均を上回った問題

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
大阪市平均以上	国語B、算数A・B	国語A・B、算数A・B	算数A・B
全国平均以上	算数A	算数A	算数A・B

現状と課題(続き)

<大阪市小学校学力経年調査より>

- 「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合

※16%⇒13%⇒16%

※学習習慣をさらに定着させる。

- 全体の標準化得点

※104.0⇒104.0⇒100.5

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目で、肯定的に答える児童の割合

※76%⇒82%⇒80%

※学力の二極化傾向の解消を図る。

<その他>

- 近年、渡日などで編入（転入）する外国人児童が急増しており、日本語指導が必要である。生活言語はもとより、学習言語に支障が生じることが多く、継続的な支援が課題である。

※7人⇒12人⇒10人

※母語:韓国・朝鮮、中国、タガログ、ベトナム、ウクライナ、モンゴル

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための体力の向上】

<全国体力・運動能力、運動習慣等調査より> 5年生 6月に実施

- 大阪市平均を上回った種目数（全8種目）

※男1、女4⇒男7、女4⇒男1、女5

- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合

※男80%、女75%⇒男80%、女72%⇒男84%、女95%

<その他>

- 平成30年度3学期より児童数増加に伴う校舎増築工事が開始。運動場の狭隘化が進むため、日常的、計画的な体力づくりが必要である。

【中期目標】（平成29年度から平成32年度までの4年間で達成をめざす成果目標）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成32年度の大阪市小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成28年度（73%）より向上させる。

※73%⇒76%⇒81%

- 平成32年度末の保護者アンケートにおける「学校は、学年に応じて、子どもに人権を大切にする意識を育てようとしている」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を平成28年度（85%）より向上させる。

※85%⇒89%⇒88%

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成32年度の大阪市小学校学力経年調査の質問紙調査で、「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合を平成28年度（16%）より減少させる。

※16%⇒13%⇒16%

- 平成32年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を平成28年度（男子80%、女子75%）より向上させる。

※男80%、女75%⇒男80%、女72%⇒男84%、女95%

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小学校）（大阪市教育委員会が設定）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。
※平成30年12月末現在認知分 100%解消
- 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
※平成30年度 93%
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
※平成30年度（前年度と同数）
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
※平成30年度（前年度と同数）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

- 大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
※4、5、6年とも前年度（同一母集団）を下回った。
- 大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
※4年 10.3ポイント増。5年 3.8ポイント増。6年 1.2ポイント減。
- 大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上増加させる。
※4年 0.3ポイント増。5年 3.5ポイント増。6年 8.6ポイント減。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
※今年度 80%（2%減少）
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、男女とも前年度より増加させる。
※今年度 男84%（4%増加）、女95%（23%増加）

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の教育活動全般について、目標の達成に向けて教職員の共通理解をしながら、さまざまな取り組みを行った。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成30年度2学期末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合は、100%であった。今後も、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努める。
- 平成30年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合は90%以上であった。
※93%⇒93%⇒93%
- 平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数は前年度と同数であった。教職員全体で、生活指導支援員や関係機関と連携して対応している。
- 平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合は前年度と同数であった。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成30年度の大阪市小学校学力経年調査における標準化得点は、大阪市平均を上回ったが、前年度より減少した。**※104.0 ⇒ 100.5**

○平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率54%以下の児童を同一の母集団で比較し、1つの学年で、前年度より1ポイント以上減少させた。

○平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率75%以上の児童を同一の母集団で比較し、2つの学年で前年度より1ポイント以上増加させた。

(学校全体では、正答率75%以上と45%以下の割合が増加し、二極分化が見られる。)

○平成30年度の大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、前年度より微減した。

※82% ⇒ 80%

○平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より男女とも1ポイント以上、向上させるに至らなかった。

男子:30.84 ⇒ 24.83 (6.01減)

女子:35.81 ⇒ 36.05 (0.24増)

※平成31年2月に実施した保護者や児童へのアンケート結果では、教育活動に対して肯定的な割合の回答がほとんどで、これまでの取り組みの成果があらわれている。今後も、学校と家庭、地域が連携して安全な社会の実現と学力・体力の向上に努めていく。

【保護者アンケート(全学年：肯定的な回答) (平成29年度⇒平成30年度)

○学校は、学校だよりやHP、学年だより、配付文書、授業参観、懇談会等を通して、教育内容や教育方針をわかりやすく伝えている。**※95%⇒97%**

○学校は、子どもの学力を高めるように努力している。**※85%⇒86%**

○学校は、子どもの健康面や体力づくりなどに努めている。**※95%⇒93%**

○子どもは、学校が楽しいと言っている。**※94%⇒91%**

【児童アンケート(全学年)：肯定的な回答) (平成29年度⇒平成30年度)

○学校へ行くのは楽しい。**※94%⇒97%**

○授業の内容はよくわかる。**※94%⇒93%**

○場に応じたあいさつができています。**※94%⇒91%**

○自分にはよいところがあると思う。**※87%⇒92%**

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した C: 取り組んだが目標を達成できなかった	B: 目標どおりに達成した D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--	--

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】 全市共通目標(小学校) ○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ※平成30年12月末現在認知分 100%解消 ○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。 ※平成30年度 93% ○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ※前年度と同数 ○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 ※前年度と同数	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。 <hr/> 指標 ・年1回以上、「学校いじめ防止基本方針」を改訂する。 ※1学期改訂 ・「いじめについて考える日」に、全学級でいじめ防止の取組を行う。 ※全学級で実施 ・学期に1回以上、全学級でいじめについて実態調査を行う。 ※学期1回実施 ・月1回以上、全教職員で児童の実態について共通理解する。 ※毎月実施 ・年1回以上、「学校安心ルール」を改訂し、全学級で活用する。 ※1学期改訂 ・生活指導支援員、SSW、SC、区役所、こども相談センター等を活用する。 ※積極的に連携、活用	B
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○人権尊重の教育を基盤とした教育活動を推進する。 <hr/> 指標 ・すべての教員が、年2回以上校外で行われる人権研修会に参加する。 ※全教員が年2回以上参加 ・人権教育実施計画(別紙参照)に基づいて、日常的、計画的に取り組む。 ※計画的に実施	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
①全教職員で児童の実態を共有し、児童理解を継続してきた。また、児童が不安に感じる事案に関しては、アンケートや聞き取りを通して、実態を把握し、指導している。さらに生活指導支援員や関係諸機関（区役所、こども相談センター、SSW、SC、こどもサポートネットなど）と連携して、児童を多面的に見守り、課題解決につなげてきた。その結果、いじめの認知件数は昨年度の1.8倍となり、積極的な認知と早期発見、早期対応が進んだ。
②人権教育実施計画に基づいて、人権尊重の教育を基盤とした教育活動を（集団育成、特別支援教育、外国人教育、太鼓学習など）推進した。人権教育研修に年間3回以上参加し、人権感覚の向上につなげた。さらに、愛着に課題のある児童への関わり方についての研修を通して、教職員が関わり方を見直し、工夫したことで、徐々にではあるが、落ち着きを取り戻した児童もいた。
次年度への改善点
①全教職員が、いじめを許さない姿勢をもち続け、今後も未然防止、早期発見、早期対応を合言葉に、指導を継続する。
②人権教育年間指導計画を見直し、引き続き全教職員で人権教育を基盤とした教育活動を推進していく。本校の課題に即した人権研修を計画し、人権感覚の向上を目指し、指導に生かしていく。

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ○大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ※4、5、6年とも前年度(同一母集団)を下回った。 ○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ※4年 10.3ポイント増。5年 3.8ポイント増。6年 1.2ポイント減。 ○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ※4年 0.3ポイント増。5年 3.5ポイント増。6年 8.6ポイント減。 ○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ※80%(2%減少)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○すべての子どもに学習習慣を定着させる。 ----- 指標 ・全学級で、週1回「朝の学習」を実施する。(英語モジュール、読み聞かせを含む) ※全学級で週1回以上実施 ・授業以外の学習機会を毎日設ける。(朝の学習、読書タイム、休み時間、放課後、英語モジュール、区役所まなび支援事業等) ※全学級で毎日設定	A
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○教員の指導力向上をすすめる。 ----- 指標 ・全学級で、年1回以上研究授業を行う。 ※全学級で年1回以上実施 ・すべての教員が、年2回以上校外で行われる研修会に参加する。 ※全教員が年2回以上参加	A
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○渡日等の子どもへ必要な支援を行う。 ----- ・必要な子どもに、日本語指導協力者派遣事業やセンター校通級指導を活用する。 ※実態に応じて活用	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①取り組みを持続することができた。

- ・朝学習のローテーションが定着しつつある。
- ・放課後の補習を実施した。
- ・学習習慣がついてきた。
- ・全国学力・学習状況調査で算数A・Bいずれも、大阪府・全国の平均を上回った。
- ・大阪市小学校学力経年調査結果で、大阪市の平均を上回る学年が2つあった。

②研究授業で積極的に研修を深め、指導力の向上に努めている。

- ・外部講師を招き、全教職員間で活発な討議を行った結果、指導力が向上している。

③日本語指導の実施

- ・渡日の子どもへの支援 安心できる場づくりに努めた。
→担当者や支援者による個別の課題プリントの作成や学級ごとの子どもどうしをつなげる指導を行った。

次年度への改善点

- ・家庭での学習習慣の定着が十分でない児童への支援を学校全体で考える
- ・授業時間内で、学習課題を達成できなかった児童への支援。
- ・渡日の児童が安心できる学習の場の設定・教室内で行える支援の確立。
- ・継続して日本語を学ぶ必要がある児童に対する手立て
- ・教材の開発
- ・基礎的な指導力の確立

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、男女とも前年度より増加させる。 <div style="text-align: right;"> ※男子: 80% ⇒ 84% ※女子: 72% ⇒ 95% </div>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○子どもの体力・運動能力向上のための取り組みをすすめる。	A
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・全校での体力向上週間を年2回以上実施する。※年2回以上実施 ・全校での「姿勢体操」を月2回以上実施する。※ほぼ毎週実施 ・民間スポーツクラブ等と連携して、体育特別授業を年1回以上実施する。※4年生で実施(11月) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
子どもの体力・運動能力向上のための取り組みを計画的に進めることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・全校での「かけあし週間」を年2回実施することができた。 ・毎週月曜日の、全校朝会では欠かさず「姿勢体操」を実施し、児童の間でも定着、習慣化している。 ・民間スポーツクラブとの連携、トップアスリートによる「夢・授業」等、外部との連携を十分にとりながら特別授業の機会を多くもつことができた。 ・校長経営戦略支援予算加算配付により、体育館にボルタリングウォールを新設した。
次年度への改善点
校舎増築工事が始まり、運動場の使用頻度が少なくなる中で、子どもの運動能力向上の機会を確保する方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「かけあし週間」の方法をどうするか。 例えば、ペア学年との交流など。 例えば、「なわとびタイム」へ移行するなど。

平成30（2018）年度 人権教育実施計画

大阪市立塩草立葉小学校

【1】人権教育推進体制の組織

- 人権教育部（校務分掌）
- 人権教育推進委員会（校長、教頭、同和教育主担、教務主任、生活指導部長、外国人教育主担、特別支援教育主任、各学年代表者）
 - ・人権教育教材集・資料、人権教育読本「にんげん」の実践、授業研究
 - ・人権・同和教育の推進
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
 - ・専門部会
 - ・新転任同和問題研修会

【2】人権教育の内容

- 「集団育成」に関する事項
 - ・学年・異学年間の学年での集団育成活動
 - ・色別たてわり活動
(児童集会・塩草立葉ゲームフェスタ・卒業祝い集会・たてわり清掃・給食等)
 - ・保・幼・小・中との交流活動
 - ※幼稚園・保育所との交流（昔遊び 1年生）
 - ※難波中学校下2校交流
(中学校体育大会 6年・なにわ子ども人権文化祭 6年・部活体験 6年 等)
 - ・地区子ども会（集団登校・下校）
 - ・フレンズ・カップ・オブ・ナニワの参加について
 - ※バレーボール、ソフトボール
(ソフトからドッジボールへ種目変更)
 - ※チーム編成から本番まで15回程度、放課後に練習する。
 - ※対象者は、3～6年生の参加希望者
- 「部落問題学習」に関する事項
 - ・太鼓正の見学・「塩草立葉のリズム」練習 4年生
 - ・クラブ活動で実施（和太鼓クラブ）
- 「特別支援教育」に関する事項
 - ・難波支援学校との交流
 - ※なんば祭（学芸会） 5年生
 - ※作品展見学 全学年
 - ・障がい理解への取り組み
盲導犬学習（3年生）、車いす体験（4年）、アイマスク体験（5年生）
 - ・特別支援学級児童の学力保障
 - ・特別支援学級以外の配慮を要する児童への支援

- 「外国人教育」「国際理解」「多文化共生」に関する事項
 - ・となりの国の学習（民族講師を招いての学習） 全学年
 - ・多文化理解への取り組み
 - ・渡日児童への日本語指導ならびに支援
- 「平和教育」に関する事項
 - ・平和・人権登校日（8月6日） 全学年
 - ・人権に関する作品制作 全学年
- 「性教育」に関する事項
 - ・性教育年間計画に基づいた学習実施
- 「学力保障」の取り組みについて
 - ・子どもの実態に応じた複数教員によるきめ細かい指導
 - ・1～6年生の「朝学習」（英語モジュール学習）
 - ・必要に応じて夏季休業中の各学年による補習
- その他
 - ・人権ポスター（平和 5年） ※浪速区で人権展開催の場合 全学年

【3】人権研修・地域連携

- 人権・同和教育の研究・研修
- 各学級もしくは学年による人権教育実践報告会
- 「子どもの実態」報告 毎月職員会議後
- 特別支援教育全体会
- 外国にルーツをもつ児童の実態把握
- 浪速読み書き教室の講師（毎週金曜日）
- フレンズ・カップ・オブ・ナニワ 10月14日（日）予備日なし
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
 - ・各専門部会の研修会への参加
 - ・新転任同和問題研修会への参加
- 大阪市人権教育研究協議会（市人教）の活動参加
 - ・市人教大会・分科会報告 6月29日（金）、30日（土）
※本校からは、毎年実践報告を発表（1本）
 - ・市人教夏期研究会 7月30日（月） 等
- 部落解放・人権教育夏期講座：高野山 8月22日（水）～24日（金）
- 全国人権・同和教育研究大会：滋賀県 11月17日（土）、18日（日）
- 浪速地区人権・同和教育研究集会 一隔年一（次回2019年度実施）
- なにわ人権教育ネットワーク（人権ネット）の活動参加
 - ・講演会「区民の夕べ」 8月6日（月）
- 浪速・西・港・大正人権展（12月） ※今年度は港区で開催
 - ・児童の作品展（図工の作品・標語など）人権ポスター見学
 - ・人権展見学 ※浪速区で開催されるときのみ